

市町村合併に伴うバス路線の再編 (栃木県佐野市)

コミュニティバス 等

地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業)

経緯

- ✓ 合併前の旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町で運行されていた旧町営バス等の路線再編を検討。
- ✓ 平成20年3月 市内の公共交通体系の見直しおよび市営バス再編の検討を行い、「佐野市地域公共交通総合連携計画」を策定。

概要

- ◇ 基幹線は、高速バスターミナルを起点とし、支線との接続を考慮。
- ◇ 秋山、野上、飛駒、足利の各支線はフリー乗降、一部デマンド運行など、運行方法に工夫。
- ◇ 仙波・会沢線では乗合タクシー型の時刻固定、エリア指定による運行。
- ◇ 地域住民の意向をもとに、公共交通空白地帯において、コミュニティバスを新規に運行(赤見線)。

特徴・効果

- 旧町営バス等が対距離運賃だったが、再編後は一律1回300円、乗継1回100円に変更。
- 運行状況の評価を実施予定
 - ・平均乗車密度が1人/km以下になった場合は、段階的に見直しを実施。(見直しに当たっては、定性的な事項[満足度や地域活性化度(近隣商店の売り上げ等)]を考慮。
- 佐野市バス・エコ・サポーターズクラブの創設



小型バス 7台
ワゴン車 1台 を使用

定時・定路線・バス停固定	基幹線
定時・定路線・フリー乗降	秋山(秋山学寮まで)、野上、飛駒、足利線
定時・定路線・フリー・循環	赤見線
定時・定路線・デマンド	秋山線の末端部
定時・エリア指定・乗タク	仙波会沢線(独立部)